

関係各位

令和 2年 9月27日
公益財団法人日本少年野球連盟
東日本ブロック
ブロック長 岡 陽一

今後の活動について

新型コロナウイルス感染防止に対し、皆様のご理解とご努力に感謝いたします。
東日本ブロック内では、感染対策を実施しながらでのチーム活動、各大会開催を進めています。
世の中では、各種スポーツ団体でのクラスターの発生がメディアにて報じられています。そのため改めて感染予防を徹底する必要性を感じております。

各チームの指導者、選手、保護者の皆様には、日々の体調チェック・検温の実施。グラウンド外での密集を防ぐこと。マスクの着用。を徹底して頂くようお願いいたします。それから車両での移動時に際してはこまめな換気を実施しマスクを着用し会話を控えるようお願いいたします。
また、大会にて宿泊を伴う場合に役員、指導者、保護者におかれまして会食は少人数にて短時間で済ませるよう徹底をお願いいたします。

引き続き、感染リスクを減らすよう大人として常識ある行動をして頂くようお願いいたします。

新型コロナウイルスの対応について

【新型コロナウイルスの特徴】

新型コロナウイルス（以下、「コロナ」という）は、誰もが感染する可能性があります。また、油断すると一定の条件が重なることで瞬く間に感染が拡大しクラスター発生につながります。さらに基礎疾患がある方や20歳代以上で重篤になるケース（死の恐怖がかかる）や高齢者を中心に死亡する方が数%と他の感染症と比べて極めて致死率が高い感染症です。このような特徴を持つことから、大会開催に向けての発生予防の徹底と発生した際にすぐに対応していくために以下のことを遵守して下さい。

1 大会2週間前

チーム役員、指導者、選手の保護者はクラスターが発生している接待を伴う繁華街等での飲食等を自粛して下さい。また、選手を含めて日頃の予防としてマスク着用、うがい、手洗いに努め毎日の体温を測るなど健康管理に努めてください。

2 大会期間中の発生について

コロナの特徴で述べた通り、対応が遅れると瞬く間に感染が拡大するので、発生直後に迅速な対応をとることで感染拡大を防ぐことができます。

大会期間中に感染が判明した場合は、感染した本人等が所属するチーム代表を通じて支部長に連絡し、支部長は速やかに大会本部に報告する。氏名等の個人情報は不要です。発生した事実のみ報告願います。

なお、コロナ感染者や濃厚接触者は医療機関及び管轄の保健所の指示に従い、PCR検査を受けることとなります。感染者及び濃厚接触者の行動規制等は、保健所の指示に従ってください。よって「どこのチームから出た」等々の詮索をしないことや不安を他に拡大させる行為や噂話、デマの拡声は厳に謹んでください。

発生報告をうけた大会本部は、直に対策会議を開催し、大会を続行するかどうかを速やかに判断するとともに、大会関係者、大会に参加している全チームに「大会の参加者の中でコロナ感染者が確認された」ことを報告する。その際にチームを特定する情報は発出しない。

大会本部として大会に参加しているチームを含め、すべての大会参加関係者に対して、約2週間は熱を測るなどの健康管理を徹底するように呼びかけます。

また、今後、体調に異常がみられた場合は、必ず各自で管轄の保健所に相談してください。

3 大会終了後のコロナの発生について

大会終了後、コロナが発生した場合は、発病3日前が大会期間と被っている場合は、大会期間中と同様に感染した本人等が所属するチームの代表を通じて支部長に連絡し、支部長は速やかに大会本部に報告する。

報告を受けた大会本部は、参加全チームに「大会参加者の中でコロナ感染者が確認された」ことを報告する。その際にチームを特定する情報は発出しない。

大会本部は、大会に参加しているチームを含め、すべての大会参加の関係者に対して、約2週間は体温を測るなどの健康管理を徹底するよう呼びかけます。

また、今後、体調に異常がみられた場合は、必ず各自で管轄の保健所に相談してください。

■コロナ対策Q & A■

Q1. 大会期間中に選手が熱を出した場合は、その選手を外して試合に参加してもよいですか？

A1. 熱＝コロナとは限りません。熱中症や他の感染症、胃腸炎、緊張からくるものなど原因は様々なので、熱が出た選手を速やかに隔離し、病院で診察させてください。

その後の対応は、医師の指示に従って行動してください。また、他に風邪症状者等がない

かを確認し、誰も有症状者がいなければ、チームは感染の可能性も考慮しつつ、2メートルのソーシャルディスタンス、マスク、出入り時のこまめな手洗い等の感染防止対策を厳格にして大会に参加してください。

なお、他に症状が少しでもある場合は、感染拡大防止のため大会参加はできません。

Q 2 . 大会期間中に選手が医療機関を受診しコロナが強く疑われた場合はチームの活動等はどうなるのか？

A 2 . コロナが強く疑われた場合は、疑われた方がPCR検査を実施することになり、結果が出るまで、そのチームの活動は停止となり、コロナを疑われている方は隔離し、他のチーム関係者は接触しないようする。よって試合参加はできません。チームの行動は保健所と相談して決めてください。また、その内容を支部長を通じて大会本部まで速やかに報告ください。

Q 3 . コロナの感染が判明した場合は、他の選手、チーム関係者はどうなりますか？

A 3 . 感染が判明した時点で必ず保健所から疫学調査・健康調査が入ります。保健所はまず感染した方の過去2週間の行動と接触者について聞かれますので、隠し事をせず、接触状況を克明に報告すること。そのうえで、保健所が濃厚接触者を特定し、濃厚接触者について健康状況等の聞き取りが行われ、特定された濃厚接触者はPCR検査を受けることとなります。大会期間中であれば、規模に応じて大会中止の判断をせざるおえない場合もあり、感染者が出た場合は、チームの活動は中止となり、その後の大会参加はできません。
※クラスターの発生や集団感染は、保健所の調査に際して接触者のことを言わない、隠すなどの虚偽の回答などが、その後の感染拡大を招いて来ました。したがって、保健所の調査には正確に回答願います。

Q 4 . 濃厚接触者とはどのような人を指しますか？

A 4 . PCR検査を受ける濃厚接触者の例としては、同居親族及び、滞在中同部屋や食事の際に同行している方及びコロナ感染者の発病2日前以降と一緒に生活等を共にした人です。大会に参加するチームでは、ホテル内の同部屋、食事時に話をしながら食べていた者、バス・電車等の移動中に周りにいた者、風通しの悪い場所やベンチ等でコロナ感染者の横でマスクなしで話をしていた者が当たると思われますが、接触状況や生活状況等を保健所に正確に報告したうえで保健所が濃厚接触者を特定します。

Q 5 . PCR検査で陰性の場合には問題無く大会に参加していいのか？

A 5 . PCR検査は万全ではなく、偽陰性が出る場合もあります。また、PCR検査を受けるということは、コロナ感染者との濃厚接触者であるため、保健所より2週間の健康管理者として扱われ、人との接触をしないように指導があり、チームより隔離して帰宅については保健所の指示に従ってください。

この場合、コロナ感染者やその濃厚接触者がいるということなので、その時点でチームは大会に参加できません。

なお、後日PCR検査で陽性が出た場合は、大会本部まで支部長を通じて報告願います。

ただし、感染した方の発病が大会を終えた4日以降の場合は報告は不要です。